

# 少連協ニュース

○発行/足立区少年団体連合協議会 ○発行人/四宮淳司 ○編集/調査広報部 大関 川田 鈴木(春) 辻村 岩井 熊澤 仁科 常田 梅津 小島



▲ジュニアリーダーによるフラッグアーチ (周年会場入口にて)

## 創立70周年に向けて

足立区少年団体連合協議会 会長 四宮 淳司



本年度は、「明るく 団結 挑戦する足立っ子」をスローガンに、ジュニアリーダー研修会、御殿場キャンプ、高尾キャンプ、創立60周年式典・祝賀会、第18回ドッチビー大会と60年の節目にふさわしい素晴らしい1年となりました。

特に創立60周年記念式典・祝賀会では、近藤区長始め、多くのご来賓、行政職員、地少協の皆様にご出席を賜り会を盛り上げていただき、心より感謝を申し上げます。また、1年前からご尽力いただきました、実行委員会の皆様、ありがとうございました。

さて、50周年から10年かけて育成してきた、ジュニアリーダークラブも大きな組織に育ちました。今年度発足したユースリーダーと合わせると、100名を超える規模になり、育成・コンプライアンス教育など、課題も山積しています。70周年に向けて、彼らとしっかりと向き合い、少連協も共に成長していきたいと思えます。

最後になりますが、成人を迎えられたユースリーダーのみなさん、おめでとうございます。

写真は「二十歳の集い(成人式)」で立派に実行委員を務めた、小松月奈、田口 藍と満面の笑みの私です。



▲四宮会長と田口藍さん、小松月奈さん

目次	○会長挨拶…1	○周年行事…2・3	○あだち区民まつり…4	○日帰り研修会…4	○第58回全国子ども会育成中央会議・研究大会…5
	○第54回東京都子ども会育成研究協議会…6	○高尾ジュニアリーダー宿泊研修会…7	○ドッチビー大会…8	○編集後記…8	



▲近藤区長あいさつ



祝賀会会次第

式典式次第



# 60年の活動を礎に 明日へつなげ築く決意

周年事業実行委員長 大関 英広



足立区少年団体連合協議会が創立60周年記念式典並びに祝賀会を令和8年2月7日(土)、アートホテル日暮里ラングウツドで開催しました。

昭和41年に創立した少連協は、歴代会長や多くの役員の皆様方により青少年育成事業を推進し、築き上げてこられた60周年という輝かしい節目を迎え、凛とした会場の雰囲気の中、近藤やよい足立区長、ただ太郎足立区議会議長並びに東京都議会議員など多数のご来賓をお迎えし、およそ200人の皆様方とともに式典が挙行され、続いて祝賀会が和やかかつ盛大に催されました。

四宮会長の式辞では、足立区や教育委員会、そして児童青少年に関わる区内諸団体から少連協事業がご理解ご支援をいただいていることに感謝申し上げますとともに、これまでの成果を講習会や野外学習、地域活動などをさらに充実させ、単に児童青少年のリーダー育成にとどまらず、社会に貢献していく人づくりにつなげていきたいとの決意を表明しました。

また、近藤区長の祝辞では、児童が学校を離れ、異年齢の友人とともに体験活動にチャレンジすることによって精神的に成長すると言われており、少連協の事業は有意義であり、区は支援に努めるので今後とも事業を推進して欲しいとの言葉がありました。



▲創立60周年記念誌

なお、この式典において、足立区の子どもたちの健全育成に長年携わり、その功績が顕著であった皆様に「健全育成特別功労（44名）」の感謝状が足立区長から、「健全育成活動功労（43名）」の感謝状が足立区教育長からそれぞれ贈呈されました。

一方、創立60周年を機にジュニアリーダーの皆さんによって制定されたコンセプト『**あ**明るく **た**団結 **か**挑戦する足立っ子』の文字どおり、この式典・祝賀会において、ジュニアリーダーやユースリーダーの皆さん50人程が、駅周辺での会場案内、野外キャンプで作製した班旗によるフラッグアートでのお客様を歓迎し、祝賀会前のアイスブレイク（じゃんけんパフォーマンス）などで活躍していました。



▲健全育成特別功労 代表 鈴木春男



じゃんけん パフォーマンス



▲ジュニアリーダーによるアイスブレイク



▲役員一同

さらに、都議会議員並びに足立区議会議員、区教育委員会、小・中学校、青少年委員会、スポーツ推進委員会などの多くの関係諸団体の皆様方から、少連協の事業や活動に理解をいただき、今後ともご支援を約束くださるとの温かいお力添えをいただきました。

私ども少連協は、足立区の子どもたちが「たくましく生きる力を身につけ」、足立区の将来を支えられるよう、四宮会長を中心に役員一同が団結し、活動・事業を推進していかなければならないと心を新たにすることができた記念事業でした。



雨でも臨機応変に！

副会長 田中 加代

10月11日、12日に行われたあだち区民まつりは、間近に発生した台風22・23号の影響を受けました。

今年度の少連協のブースは、ふわふわトランポリン・ストラックアウト・飲料販売（ペットボトル）・スタンブラリー・ホット&アイスコーヒー販売・ポップコーン・水ヨーヨー・ジュニアリーダー（折り紙の花で沢山の花を咲かせよう！）でした。



▲スタッフ全員集合！



▲毎年、大盛況のふわふわトランポリン

11日は前日からの雨が止まず、少連協ブースのシンボルであるふわふわトランポリンを立ち上げることが出来ませんでした。少し寂しい気がしました。

食品販売以外のブースでは、テント横幕の設置がなかった為、役員が雨の吹き込みに備え、急遽、養生シートで雨対策を行いました。肌寒い気温の為、ホットコーヒー販売は来場の皆さんにご好評を頂きました。

12日は秋晴れの中、賑やかに開催されました。ふわふわトランポリンを始め、各ブースも活気に満ちていました。

今秋、新たに加入したジュニアリーダー達は活動初日でしたが、戸惑いながら、少連協スタッフ、先輩ジュニアリーダーと一緒に、呼び込み、ヨーヨー販売、折り紙コーナーで頑張りました。今年度の売上は、2月に開催される少連協60周年の資金として活用させて頂きます。お手伝い頂きました皆さん、ありがとうございます。（来場者は両日合わせ30万人へ観光交流協会調べ）



総務部長 坂田光穂

11月30日に行われた日帰り研修会は総勢35人で一路、南房総へ向かい、午前10時には目的地の大房岬自然の家へ到着しました。視察に選んだ理由はこれから銚南の代替施設としてジュニアリーダーキャンプの会場となるからです。

子どもたちが宿泊する建物にはプラネタリウムや体育館があり、2段階ベツドの部屋は、まるで秘密基地のようで、子どもたちの活動に期待が膨らみます。そして屋外は東京湾から三浦半島、大島まで望める広場、アツプダウンがあり自然体験ができるキャンプファイヤー場なども広々としていて、素晴らしい体験環境にあることが確認できました。

昼食に新鮮な地魚の定食を食べた後、小学校が廃校になって、地域活性化のためリノベーションされた保田の道の駅へ行きました。大勢の観光客でにぎわい、教室を跡利用した宿泊施設や体育館だった土産売り場など見学しました。

そして、最後に訪れたのは大多喜にある「MUJI BASE OIKAWA」。無印良品が再開発した、やは



▲研修参加者一同

り元小学校だった宿泊・レクリエーション施設です。定員は20人と小規模なので、子ども会などの少人数での利用は可能です。ここも音楽室や家庭科室などそのままの形で生かされており、宿泊棟は教室をリノベーションしたとは思えないほどハイセンスのデザインになっています。次回もテーマ性を持った企画を考えていきます。ご参加の皆様、どうもありがとうございました。

第58回  
全国子ども会育成  
中央会議・研究大会

育成部長 熊谷 厚

今年度は、11月15日、16日に熊本市熊本城ホール「シビックホール」で開催され、足立区からは、4名で参加してきました。

第1日目はアトラクション（必由館高校和太鼓部演奏と書道部パフォーマンス）、熊本市長（元熊本市長協理事）講演「子ども会への市長の思い」、記念講演は熊本学園大学・田中昌子先生「やりたい！」が生まれる場づくり：動機づけ理論で考える子ども会活動の魅力で、ともに興味深い講演でした。



▲記念講演 田中昌子講師



▲足立区からの参加者一同

動機づけ理論の「自己決定理論」で重要な3つの基本的心理欲求とは、やらされた感覚ではなく、自分で決めたという感覚の「自立性への欲求」、やれた！やれるんだという感覚の「有能性への欲求」、安心できる人と一緒にやったという感覚の「関係性への欲求」とのことです。そして、これらの3つの感覚を満たしてあげることができると、子ども会という場所となります。子ども会の役割の重要性を、改めて考えることができた有意義な時間となりました。

表彰式では足立区少連協の田中副会長が全子連から表彰されました。受賞者を囲む会・情報交換会では石川県子連の方々と同席となり親睦を深めることができました。

第2日目は、第1〜8の分科会で各テーマに沿ってグループ討議をしました。私は第3分科会『地域学校協働活

動における「子ども会」の位置づけについて』に参加しました。

最初に文部科学省CS（コミュニティスクール）推進室の方から概要を聞きました。内容は「子ども会が地域側の活動主体として、地域学校協働本部運営において、中心的役割を担うことを期待している」とのことでした。

グループ討議のメンバーは熊本県（2名）、宮崎県、大阪府、長野県、東京都の6名です。自己紹介、活動内容を各自行ってから、「子ども会活動全般」について話し合いました。大会参加者事前アンケートでは、60代が37・4%、

70代以上が26%で合計63・4%と育成者が高齢化しており、討議結果での共通した意見は「子どもの減少」「育成者の高齢化」「育成者の成り手不足」でした。

足立区少連協としては、ジュニアリーダーを地道に育成し、大人となったOB、OGが地域のリーダーとして活躍してくれることに期待しています。今回の研究会に参加して、たくさんの方と出会い、意見を交わすことによって、知見を広めることができました。これからの少連協活動にフィードバックしていきたいと思っています。



全国子ども会連合会  
- 表彰を受けて -

副会長 田中 加代

15日開会式後の表彰式において、指導者の部の表彰を頂きました。今回の表彰は、活動を続けている子ども会、第五地少協、足立区少連協の活動代表者として受賞させて頂いたと感じています。

子ども会の人数は、我が子がお世話になった当初に比べると減少していますが、子どもたちの笑顔にパワーを貰いながら、一緒に活動をしている役員と共に、これからも後継者育成に向けて頑張っていきたいと思えます。

推薦頂きました東京都子ども会連合会、足立区少連協の皆様お礼申し上げます。ありがとうございました。



◆  
**第54回**  
**東京都子ども会**  
**育成研究協議会**  
 ◆

調査広報部長 川田 和美  
 12月6日、豊洲シビックセンターに於いて、参加者154名で開催されました。

始めに、子ども会並びに子ども会活動助成にあたっての指導者、育成者に対して、その業績が称えられ、足立区からは「西新井中央オリオン子ども会」「仁科真由美調査広報部副部長」「神田明姫事業研修部員」が表彰されました。

今年度の研究メインテーマは、「子どもの体験活動による成長フォーラム@TOKYO」であり、キッザニア東京事業部HPI推進部HPI推進グループ 中嶋秀俊先生による基調講演「子どもの「気づき」をひきだすために」が行われました。

この講演の中で、「子ども対応のポイント」として、同じことを伝えようとしても言い方一つで伝わり方が全く違ってくるという話がありました。



**ネガティブな言い方 (NGワード)**

何でできないの？

ちゃんと聞いてください。

走らないで！

親

**ポジティブな言い方**

→ どうしたらできると思いますか？

→ 今から説明しますね。

→ ○○するといいですよ。

→ 保護者・一緒に来た大人の人



▲表彰の皆様

例えば、何かを教える上で、自分ができることを相手ができないと、何でできないのか？と思いがちですが、できないのは本人もわかっていないことなので、何の解決にもなりません。どうしたらできるのか？と一緒に考えることが大事とのことでした。

また、子どもたちのやる気を更に引き出すためには、「よくできたね」だけではなく、具体的な言葉をプラスして褒め、結果だけではなく、そこに至る過程や努力も一緒に褒めることが次の意欲となり、気づきを引き出して生きる力を育むことに繋がっていくということでした。今後、育成者として子どもたちと関わっていくにあたり、とても参考になりました。



▲キッザニア東京の入口 (子どもたちの未来への入口)

かなければと改めて思いました。

午後の分科会では、実際に「キッザニア東京」の見学に行きました。

この施設には、子どもたちのサポートをする「スーパースーパー」がいて、誰もが持っている「子ども力(楽しむ力)」と「おとな力(楽しませる力)」を使って、子どもの「気づき」を引き出し見守っています。昔、体験をした子どもが、当時のスーパースーパーに憧れ、最近入社し、活躍しているとの事例も聞き、おとなが楽しんで楽しめる姿を子どもたちは、しっかりと見て心に留めている事実に感動しました。

今回の講演と見学を通して、子どもに対するおとなの関わり方一つで、子どもたちは良くも悪くもなるということとを改めて考えることができた一日となりました。



▲新聞タワー作り



〈協力・技術・自然〉

高尾キャンプ長 一樹 勇太郎  
 11月22日から24日の3日間、東京都八王子市の「高尾の森わくわくビレッジ」にて、「ジュニアリーダー研修会」宿泊キャンプを開催しました。ジュニアリーダーやキャンパー、スタッフなど総勢137名が参加し、紅葉が美しい自然の中で「協力・技術・自然」の3つのテーマを実践しました。

開催中、流行性の風邪により欠席や途中帰宅が相次ぐ事態となりましたが、班編成を即座に組み替えるなど迅速かつ柔軟に対応しました。この経験は、予測できない状況下での判断力を学ぶ貴重な機会となりました。野外炊事では火起こしから協力して「味噌煮込みうどん」を作り上げ、夜は星空の下でキャンプファイヤーを囲み、忘れられない思い出を共有しました。

多くの困難を乗り越え全日程を無事に終了できたことは、参加者の大きな成長の証です。ここで得た学びは次世代の足立区を担う若者の力となるでしょう。成長したリーダーたちの活躍を、今後も全力で支援してまいります。



▲参加者全員集合



▲味噌煮込みうどん、上手にできたかな？

〈それぞれのリーダーが自分の役割を全う〉

プログラムディレクター

小安 郁香

今回、みんなに課したのは、「自分のことは自分でする」「みんなと協力して、ひとつのことをやってみよう」でした。

小学5年生100名弱で宿泊キャンプを行いました。初めのうちは、ぎこちなさも見えましたが、徐々に班活動を頑張っていく姿がとて印象的でした。全部の班が円滑だったかと言えばそうではないですが、その時はグループリーダーが活躍してくれました。

感染症の流行で、思うようにできないところもありましたが、それぞれのリーダーが、自分の役割を全うすることが出来ました。今回、初めてのプログラムディレクターでしたが周りに助けてもらい、様々な経験が出来たキャンプでした。



▲まき割り集中の小安さん



子どもたちの  
頑張りと成長

事業研修部副部長 田中 則聡  
令和8年2月11日、足立区総合スポーツセンターにおいて、第18回ドッジビー大会が開催されました。A・B・C各コートでは、衆議院議員をはじめ、来賓の方々による始球式を行い、小学生14チーム、小中学生6チームが参加し、大会がスタートされました。

試合では、高学年の子どもたちが声を掛け合いながらチームを引っ張り、頼もしい姿を見せてくれました。また、低学年の子どもたちも最後まであきらめず、一生懸命ディスクを追いかける姿がとても印象的でした。

勝ち負けに関わらず、子どもたち一人ひとりの頑張りや成長を感じることができた素晴らしい大会となりました。

また、運営補助では、ジュニアリーダーたちが大活躍をし、審判は、足立区スポーツ推進委員の方々の多大なるご協力があり、スムーズに大会を進行することができました。



▲小学生の部 優勝 ヒビケⅣ



▲小・中学生の部 優勝 ピンクパンサーA

小学生の部		結果発表	小・中学生の部	
順位	チーム名		順位	チーム名
1位	ヒビケⅣ (第11)		1位	ピンクパンサーA (扇)
2位	カバチジュニア(蒲原)		2位	花保町会 (保塚)
3位	さくらウエスト(第15)	3位	堺田町会子ども会 (保塚)	



### 編集後記



周年の式典祝賀会では、ジュニアリーダーたちが、元気よく活躍し、和やかな雰囲気となりました。他の団体とは一味も二味も違う式典だったと思います。ジュニアリーダーたちの今後の更なる成長が楽しみです。来年度も子どもたち、育成者たちの活動の様子がわかる紙面作りをしていきたいと思っています。

(川田)

